

2022/3/28

東アジア資金部 ソウル室 +82-2-3782-6859

先週末までのマーケット動向(3月21日～3月25日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,212.0	1,223.9	1,210.4	1,218.8	+11.2
JPY/KRW	10.1627	10.2043	9.9725	10.0025	▲0.166
KOSPI	2,717.81	2,742.27	2,683.69	2,729.98	+22.96

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は上昇した。FOMCでのパウエルFRB議長のタカ派色の強い発言により、週末に米債利回りが大幅に上昇したことを受けて21日は1,212.0ウォンでオープン。週初はFRBの積極的な利上げが意識される中でドルは底堅く、ドル/ウォンは週高値1,223.9まで上昇した。しかしドル買いの流れは長続きせずドル/ウォンは1,211.0ウォンまで反落した。24日には米国がロシアへの追加制裁を示唆するなどリスクオフ地合いとなる中、ドル/ウォンも反発したものの、大きなトレンドにはならず。G7首脳会議等では停戦・終戦への措置などは打ち出されず、週末にかけては比較的狭いレンジで推移し、結局先週末対比11.2ウォン上昇した1,218.8ウォンでクローズした。

今週の見通し

今週のドル/ウォンは底堅い展開を予想。今週も引き続きウクライナ情勢を睨んだ展開が想定される中、週末に予定されているEUと中国の首脳会談を控えての警戒感から、リスクオフのドル買いに傾きやすい展開が想定されよう。加えて先週末には米債利回りが急伸しており、10年債利回りは2019年5月以来の高水準となるなど、FRBによる積極的な利上げが意識される中で、ドルの下支え要因となろう。四半期末の実需のウォン買い需要はある一方、外国人投資家によるウォン建て配当金のドル転需要も多く、毎年この時期はウォン安に進みやすい。かかる状況下、節目の1,240付近まではドル/ウォンは上昇しやすいのではなかろうか。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1215 ~ 1240	9.85 ~ 10.15	121.5 ~ 123.5

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 29日(火) 日 2月 失業率
- 米 3月 カンファレンスボード消費者信頼感指数
- 30日(水) 欧 3月 消費者信頼感指数 確報値
- 米 3月 ADP雇用統計
- 米 4Q GDP 確定値
- 31日(木) 日 2月 鉱工業指数 速報値
- 米 2月 個人所得
- 米 2月 個人消費
- 中 3月 製造業PMI
- 中 3月 非製造業PMI
- 1日(金) 米 3月 非農業部門雇用者数
- 米 3月 失業率
- 米 3月 ISM製造業景況指数
- 日 1Q 日銀短観